



ときわ病院 だより

第22号 発行日：平成27年5月31日

赤ん坊と老人

私は40数年前に2人の女の子に恵まれ、今は2人の孫にも恵まれています。特に、赤子から幼児期にかけての可愛さはひとしおですね。話かけても返事はなく言葉は通じなくても目と目で何かが伝わり、笑顔が返される。それはハッピーな一瞬です。言葉でお互いの意思が疎通しなくても、赤子の脳には快・不快の情動の記憶が刻み込まれ、年老いた私の情動と感応することができます。双方の間に“愛着”が自然に生まれます。やがて言葉を覚え、様々な記憶が蓄積され、それによって人間関係の核であった愛着は豊かな人間形成の動力となり、発展します。

他方、人は老いとともに運動能力は衰え、記憶装置も衰えてきます。記憶が衰えると筋道たてて考えたり、正しい判断も難しくなることもあります。次第に家族との言葉による意志疎通が滞ってくることもありましょう。自分が他の場所にしまった大切なものが目の前に見つからなければ、誰かに盗られたと騒ぐかも知れませ

ん。30年前の時代に自分だけ戻ってしまい、混乱することもあるかも知れません。認知症が進むと、目で見、肌で感じる世界が私たちの世界とは「似て非なる世界」になっている場合が少なくありませ

ん。叱ったり、矯正しようとしたりしても、混乱を増すだけです。

幸いなことに、様々な記憶が衰えてしまっても、情動の記憶が衰えるのはずっとあとのことです。情動の記憶は、理屈ではなく、優しく見つめること、優しい言葉をかけること、そっと優しく触れることで呼び起されると云われています。かつて、赤ん坊にしたような自然な優



特定医療法人さっぽろ悠心の郷
理事長 **花 井 忠 雄**

しい振る舞いで、緊張や不安が遠のき安心と信頼の世界に誘導することができると云われています。

最近の国の資料では、10年後には認知症老人は700万人となり、65才以上老人の5人に一人が該当するとされています。10年もしないうちに、私自身はその5人の一人に入っている可能性は高いので、他人ごとではありません。今のうちから“可愛い認知症老人”になれるものになりたい、と思っています。

江戸時代末期のお坊さんで仙厓和尚（1750～1837）が残した話があります。「皺がよる、黒子ができる、腰曲がる。頭は禿る、髭白くなる。手は震う、足はよろつく、歯は抜ける。耳は聞

こえず、目は疎くなる。身に添うは、頭巾襟巻、杖眼鏡。たんぼ温石、尿瓶、孫の手。聞きたがる、死にともながる、寂しがる。心は曲がる、欲深くなる。くどくなる、気短くなる、愚痴になる。出しゃばりたがる、世話焼きたがる。またして同じ話に、孫褒める。達者自慢に、人は嫌がる」との、年寄り評です。この訓話（？）を身に沁み込ませると、多少は認知症でも、周囲に嫌がられない年寄になれるでしょうか。

年とともに我欲を捨て、周囲の人たちも何も分らないほど「先祖がえりした赤子」に見立ててくれる、双方の普段の努力も大切な、と思っています。

ときわデイケアセンター を紹介します

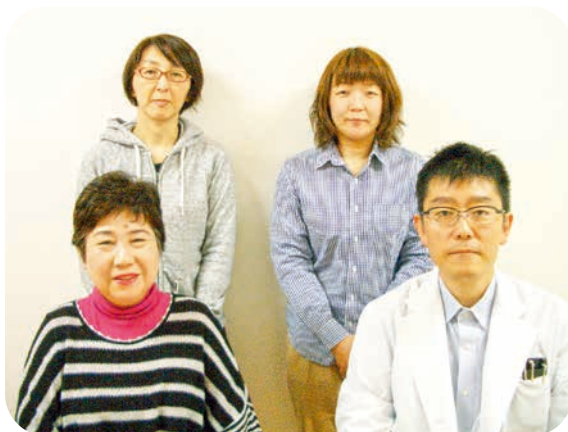
精神科デイケア「ときわデイケアセンター」は、疾病や生活障害、社会的ハンディキャップ等の多層的な障害を持つ方々が、家庭や地域社会で安心して生活できるように、グループによるプログラム活動をとおし、スタッフの支援や自助努力によりリハビリテーションを行う場です。当デイケアには、医師をはじめ、看護師、精神保健福祉士、作業療法士が勤務しており、利用者の目標や希望にあわせ各種専門スタッフがサポートしています。

当デイケアのプログラムは生活技能や能力の回復学習を目的としたSST（社会生活技能訓練）や料理等の活動、作業能力や体力の維持・向上を目指した手工芸やスポーツプログラム等、充実した余暇の過ごし方を提供するカラオケや革細工等の趣味活動に加え、バスレクや海水浴といった行事も行っています。また、適切に社会資源を活用できるよう相談の受け付けやSSTによる練習も取り入れています。

特に当デイケアでは、「喫茶アリスの部屋」という模擬喫茶店を活動として行っています。お客さんとしてデイケアの利用者や入院患者さんが来店され、ドリンクメニューを中心に提供しています。メニューの考案や仕入れの準備、ドリンク作りや接客、後片付けといった作業を通して、模擬的ではありますが労働体験を実施しています。

ときわデイケアセンターでは、利用者とスタッフが協働して楽しく活動を行っています。

興味のある方は、相談や見学をお受けすることも可能ですので、お気軽に精神科デイケアへご一報ください。



デイケアスタッフ

デイケア の利用に ついて

活動時間：平日 月曜日から金曜日

- ❖精神科デイケア ；午前10時から午後4時（給食ついてます）
- ❖精神科ショートケア；①午前10時から午後1時 ②午後1時から午後4時
（①、②のいずれか半日、給食はつきません）

費用：各種保険制度、各公費負担制度利用可能

一日の流れ

10:00～	10:30～	12:30～	PM 1:30～	3:40～4:00
集い	AM活動	昼休み	PM活動	集い

各活動項目

運動活動	バドミントン 卓球 グランドゴルフ スカットボール 等
創作活動	手工芸 料理 革細工 お華 脳トレ 等
趣味活動	カラオケ パソコン 等
対人交流の練習	SST 話し合い 等
就労に向けて	軽作業 パソコン・印刷 等
余暇活動	アロマセラピー 音楽・読書・散歩 等
年間行事	バスレク 海水浴 野外食 忘年会 等



料理活動



華道



革細工



手工芸

平成27年度 特定医療法人さっぽろ悠心の郷理事長講演

4月24日に毎年恒例となっています、特定医療法人さっぽろ悠心の郷 花井忠雄理事長の年度初めの講演を開催しました。法人の理念・運営方針や平成27年度の運営課題と取り組みをテーマとして、病棟機能の再編に向けた取り組みやリハビリ・個別支援の充実化、地域連携の取り組みについて約1時間わたる講演でした。111名の職員が参加し、平成27年度の法人運営について熱心に聞いている姿が見られました。



編集後記



街並みの木々の色も濃くなり、温かく気持ちの良い季節になりました。今年は、雪解けも桜の開花も早く、夏が待ち遠しいですね。

「ときわ病院だより 第22号」でご意見やお気づきの点がございましたら、病院のEメールアドレスまでご一報ください。



交通案内

- ◆中央バス
地下鉄真駒内駅 中央バス乗り場2番より
空沼線[真101]・滝野線[真102]乗車
『札幌市立大学前』下車（所要時間約15分）
- ◆自家用車
地下鉄真駒内駅より
国道453号線を支笏湖方面 約10分
- ◆当院マイクロバス
市立真駒内中学校グラウンド横より：午前9:50発

● 発行者 ●

特定医療法人 さっぽろ悠心の郷
ときわ病院

北海道札幌市南区常盤3条1丁目6番1号

TEL 011-591-4711 (代表)

FAX 011-591-0922

URL <http://www.tokiwahp.jp/>

E-mail tokiwahp@seagreen.ocn.ne.jp